

石川県立山中漆器産業技術センターの平成28年度管理状況

施設所管課	商工労働部経営支援課
施設管理者	(公財) 山中漆器産業技術センター 理事長 普赤 清幸
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日
中期経営目標 (H27～H29)	①基礎コースの入学志願倍率は、引き続き1.2倍以上を維持します。 ②専門コースの定員充足率を80%に高めます。 ③利用者アンケートによる満足度において、利用者サービスは引き続き95%以上を維持し、施設の維持・管理は95%以上を目指します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項 目	実施内容
① サービス向上・利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度末に増設した轆轤を活用し、轆轤木工実技の研修時間の確保・充実に努めた。 ・漆芸教室において「デジタル工作コース」を新設し、産地からの要望が多かった3Dプリンターの使用やレーザーカッターでの製作を学べるようにした。 ・老朽化により漏水等の不具合があった茶室の空調設備を修繕し、茶室での研修に支障がないようにした。 ・産業振興事業において、見本市に出展する木製漆器協同組合企業を対象に勉強会を開催し、山中漆器の発信力及びブランディング力の向上を図った。
② 広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・研修生の募集について、HPの充実を図るとともに、新たにフェイスブック等のSNSで研修の様子等を定期的に発信したほか、MROラジオやメールマガジン、新聞広告「公報いしかわ」を活用し広く周知した。 ・これまで行ってきた地元高校生向けの体験会を、初めて「オープンキャンパス」として対象を広げて実施し、県内外から前年度の約4倍となる65名の参加を得た。 ・専門コースへの進学率向上を目的に、進学のメリットや専門コース卒業後の就職状況を説明する進学説明会を初めて開催したほか、卒業後の就職支援策として、産地内の状況把握や関係作りのための工房見学を複数回行った。 ・加賀市、金沢市及び県外では大阪市において、卒業作品展示展を行い、同センターのPRや山中漆器の魅力発信を行った。 ・挽物轆轤や蒔絵の体験を行う体験教室を開催し、地元小学校、地元高校、金沢大学留学生、外国教育機関等、幅広い年齢や国籍の方の参加を得た。

(2) 平成29年度における取組内容の見直し等

実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・研修生の挽物轆轤技術向上を図るため、平成30年度から職人養成トレーニングを追加する等のカリキュラム変更を行うことを見据え、H29年度は必要となる材料の調達や講師日程の調整を行うほか、H30年度の研修生募集案内時の周知に努める。 ・平成29年度に体験用轆轤やレンタル工房の整備を予定しており、より魅力的な展示方法、体験プログラムの提供に向けた検討を進める。

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H25年度 (基準値)	H26年度	H27年度	H28年度	前年度比	H29年度 (目標値)	
(1) 基礎コース入学 志願倍率 (定員5名)	1.2倍	1.6倍	1.2倍	1.2倍	0対1	1.2倍以上	
(2) 専門コース定員 充足率	60.0%	70.0%	70.0%	90.0%	+20.0対1	80.0%	
(3) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス	100.0%	100.0%	98.0%	100.0%	+2対1	95%以上	
施設の維持管理	93.0%	96.4%	100.0%	100.0%	0対1	95%以上	

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る対前年度増減理由>

指 標	対前年度増減理由
専門コース定員 充足率	研修生へ進学にあたっての個別相談をきめ細かに行き、専門コースの魅力を伝えていることが功を奏し、専門コースへの進学率が上昇したことによるもの。
利用者アンケート (利用者サービス)	研修生からの轆轤をもっと使いたいという要望や工具・教材の確認・補充に関する要望に対応した結果、満足度を高めることができた。

<利用者アンケート結果>

- ・ろくろ研修事業（平成29年3月実施 有効回答数16名）

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
施設の維持管理	46.7%	53.3%	0.0%	0.0%

- ・施設開放事業（平成28年度随時実施 有効回答数28名）

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	96.4%	3.6%	0.0%	0.0%
施設の維持管理	96.4%	3.6%	0.0%	0.0%

- ・漆芸教室事業（平成29年3月実施 有効回答数17名）

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	88.2%	11.8%	0.0%	0.0%
施設の維持管理	70.6%	29.4%	0.0%	0.0%

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	清掃業者に外部委託しており、毎週1回、事務所と轆轤室を除く全ての部屋を清掃している。
(2) 設備保守点検	空調設備管理、エレベーター保守管理、消防設備管理、電気設備管理、地下オイルタンク点検を全て業者に外部委託しており、それぞれ適切な時期に保守点検を行っている、
(3) 植栽維持管理	植栽業者に外部委託しており、四半期に1度程度の頻度で、草刈りや剪定、雪吊り等の対策を取っている。
(4) 警備	民間警備保障会社に外部委託しており、施設内に防犯装置を備え付けている。
(5) 小規模修繕	設備等が故障した場合は、研修等に支障が生じないように速やかに修繕を行っており、研修生や利用者の利便性、安全確保に努めている。

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	緊急連絡網を策定し、非常時に備えた危機管理体制を整えている。また、緊急時の初動内容についてマニュアル化し、センター職員内で周知徹底している。
(2) 個人情報の管理状況	個人情報の保護に関する法律等関係法令並びに基本協定書に定める「個人情報の取扱いに係る特記事項」を遵守している。

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

(単位：件)

項目	許可件数	不許可件数	不許可理由
施設使用	1	0	
解放機器使用	99	0	
合計	100	0	

(2) 使用料の収入実績（利用料金の収入及び減免の状況）

(単位：千円)

項目	収入額	減免額	減免理由
施設使用	0	1,780	1件：山中漆器連合協同組合利用のため
解放機器使用	53,220	900	1件：山中漆器連合協同組合利用のため
合計	53,220	2,680	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	39,117	人件費	14,733
入学手数料等徴収事務委託料	128	委託費	2,858
授業料収入	3,471	光熱水費	1,912
使用料収入	54	修繕費	177
		その他管理費	4,013
		轆轤研修事業費	19,077
合 計 ①	42,770	合 計 ②	42,770
収支差額 ①－②	0		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
平成28年3月	機械に油を注ぎすぎている場合がある。研修生への周知をしてほしい。	全課程において年度当初の授業で機械の使用について周知徹底を行った。
平成28年3月	工具や備品の所在を1年に1回は確認し補充してほしい。	年度当初、全ての備品を確認したほか、工具・備品について随時確認し補充するようにしている。
平成29年3月	轆轤研修の時間がもっと多いとよい。	平成28年3月に轆轤を1台増設し計10台とし、平成28年度から轆轤研修の時間を増やしたほか、平成30年度から、基礎コース2年生の轆轤実技日数を現行週2日から週3日に増加する（年間約40日、約320時間増）ため、準備を進めていく。

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
該当なし		

8 その他報告事項など

特になし

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漆器に関する様々なスペシャリストを講師として招き、研修生に対して高いレベルの研修を行っている。特に所長（人間国宝）である川北良造氏自ら、所定講義回数以上の技術指導を積極的に実施している。 ・ 児童生徒や一般を対象とした見学や体験教室等を積極的に実施し、山中漆器の普及啓発に努めている。 ・ 組合員が自分の専門以外の漆に関する技術を習得する漆芸教室を、産地からの要望に応じた見直しを加えながら開催し、資質向上に努めている。 ・ 入学案内書は県内の高校へ持参するとともに、研修内容について詳細な説明を行っている。また、地元高校生を中心に事前体験研修の機会を設けているほか、オープンキャンパスを実施し、入学志願者の増に努めている。 ・ 入学に関する問い合わせを受けた場合には、必ず事前に同センター内で体験を行うよう依頼しており、「漆器づくり」の難しさ、厳しさを知った上で、それでも志望する研修生のみを受け入れる体制を構築している。 ・ 地元の漆器事業者が施設・開放機器をより利用しやすいように、センターの開館開放時間を週1回（火曜）、午後5時から午後9時に延長している。 ・ 研修生や施設利用者を対象としたアンケートを実施し、サービスの維持向上等に活用している。
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 挽物轆轤研修事業を円滑に進めるために、設備の保守点検を定期的に行うなど、適切な維持管理に努めている。 ・ 設備等が故障した場合は、研修等に支障が生じないように速やかに修繕を行っている。 ・ 照明器具のLED化を図り、環境に配慮した管理に努めている。
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急連絡網を策定し、非常時に備えた危機管理体制を整えている。 ・ ノウハウをもった職員を適切に配置することで、漆器業者の相談や、見学・体験者への対応といった点を含め、適切な管理運営を行っている。 ・ 研修生、相談者の個人情報保護に留意している。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山中漆器産業の育成及び支援を行うことを目的として、適切な管理運営を行っているほか、山中漆器に関心のある県民に対しての普及啓発事業も積極的に行っている。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項

--